

# ReMORI MONTHLY /

2023年10月号  
りもり vol.16  
INゆすはら

林業情報を発信！  
りもりマンスリー

## 造林作業（下刈り）研修に参加！

協力隊4名で有限会社まんさくによる造林作業研修に参加  
長谷川 夏輝 | p.02~03

## 梶原に来て

地域おこし協力隊新メンバー自己紹介  
吉井 香在 | p.04

**01** この木なんの木？ VOL1  
不定期連載クイズ企画



梶原のメインストリートの街路樹。  
みなさん一度は目にしたことはあると思いますが、  
この写真の木の名前はわかりますか？ 答えは4ページに。



梶原町森林再生プロジェクト  
「りもりチャンネル」

りもりの活動やイベント風景、協力隊  
のPR動画などを配信中！



KIRecub-きりかぶ-チャンネル

新たに立ち上げました！活動風景やイ  
ベントの様子などを配信予定！



## 03 Instagram

### ゆすはら地域おこし協力隊

りもりメンバーが林業を通して梶原町の魅力を発信中！



下村智也



山口佑貴



長谷川夏輝



荒木俊充



吉井香在



Coming Soon

### KIRecub-きりかぶ-

造林事業をメインに立ち上げた組織「KIRecub（きりかぶ）  
有限責任事業組合」です。林業がもっと面白く活気のある  
産業になるように様々な事業も展開していきます。



### ゆすはら森のおさんぼ会

梶原の豊かな自然を活かした、自主保育型「森のようち  
えん」活動。協力隊の荒木俊充が妻とともに、4歳と1歳  
の子もたちを連れ、町内各地で活動中。参加者随時募  
集中！0歳からごなたでも参加していただけます。一緒  
に自然を満喫しませんか？



### WOODNEIGHBORS-ウッドネイバーズ-

協力隊を卒業した角金玄が個人事業主として開業。  
ロープクライミングで樹上へアクセスし住宅や公共施設、  
神社仏閣などの樹木の伐採(剪定)を事業としています。



### Coming Soon

Coming Soon



# 造林作業（下刈り）研修に参加！

梶原町とも縁深い「株式会社みどりの恵」森本正延さんから案内をいただき、9月28日（木）県森連（高知県森林組合連合会）主催の造林作業研修にゆすはら地域おこし協力隊4名で参加してきました。内3名はKIRecub（きりかぶ）として普段から造林作業をしているメンバーです。他にも県庁や森林組合、林業女子、高知新聞社など、多方面からの参加がありました。

講師としては、「有限会社まんさく」代表取締役の林春夫社長と社員の皆さん。まんさくは造林事業に特化して県内で活躍しており、林社長のお人柄により、若い素敵な方々が集まる雰囲気の良い事業体です。実は林社長とお会いするのは二度目。昨年、施業地見学をさせていただき、その頃から活気ある事業体という印象で、今でもKIRecubが目指す姿としてお手本にしている事業体の一つになります。造林会社の大先輩の現場体験をできるということで、今回の研修は楽しみにしていました。



手鎌チーム。講師の方の話を真剣に聞きます。

刈払機チームでは、安全に配慮して3名ずつ間隔を十分に確保して作業を行いました。まんさくの社員さん指導の下、安全面や効率を上げる方法など指導いただきました。日に3反は刈るという社員さんの手際は良く、メンバー間のチームワーク（作業区分けや声かけなど）も参考になりました。なにより笑顔があふれる活気ある現場というのが印象的でした。



下刈り作業の様子 その1

今回の開催地は高知市土佐山の工石山にある、まんさくの造林施業地。午前中に下刈り作業の実地研修、午後に林社長への質問形式の意見交換会という二部構成です。

実地研修では、普段現場作業をされていない参加者さんもいた為、手鎌作業チームと、刈払機チームに分かれました。KIRecubメンバーはもちろん後者です。



刈り払い機チーム。いざ出陣。

午後からは全員で円を作り、林社長、森本さんを中心としてテーマごとに意見交換が始まりました。造林にまつわる様々なテーマについて意見が交わされる中、造林の補助事業制度の厳しさへの言及に続き、下刈りの隔年刈りについての話がありました。「補助金は植え付けから5年間、計3回まで受けられる。毎年刈りなら3年、隔年刈りなら5年間は補助金を受けて管理できることになる」、さらに続けて「隔年刈りはそもそも人手不足から始まったもので、理想は毎年刈り。隔年刈りの単価は1.3倍だが、労力はそれ以上になる」と言及がありました。確かに、KIRecubでも隔年刈りの現場をやったことはありますが、身の丈以上のタラの木が棘だらけで倒れかかってくるシチュエーションはたまったものではなかったです。加えて、そういった余計な気を回す分、効率をはるかに落ちてしまったことも思い出しました。どのテーマも実体験と結びついたこともあり、興味深くあっという間に時間が過ぎていきました。KIRecubの法人化に向けたアドバイスや、事業計画の立て方など色々なお話も伺え、各方面への人脈もでき、とても有意義な時間となりました。今回森本さんからこういった会を案内いただいて本当に良かったです。



林社長を囲んでのお昼休憩。休憩中にも貴重なお話をたくさん頂きました。(一番右が林社長)

最後に、心に残った林社長のお言葉を記して終えようと思います。お昼休憩に林社長との雑談の中で「造林」、もっというと「山」にかける思いの本質のような素敵な言葉をいただきました。「美しいと綺麗は違う。美しいは心動かすもので、綺麗は心に残らない。心を動かす山づくりをする。造林家は緑の芸術家なんだ」。なんだか熱い気持ちが湧き上がってきて、まんさくに人が集まる理由が分かった気がします。

## もっとFEATURE-フィーチャー-

### 有限会社まんさく

高知県の町に所在する造林事業を主とする事業体。切捨て間伐・地拵え・植付け・下刈り・防獣ネット張りなど、事業内容は林業全般に渡ります。林大生の受け入れもされていて若い人材が多く、活気ある事業体です。



下刈り作業の様子 その2

第1回の地拵え研修に続いて、今回は第2回で下刈りの研修でした。次回は植え付けの研修を開催予定のことですので、また皆さんとお会いできる日を楽しみにしています。



作業後の集合写真。次回の研修も楽しみです。(一番左が林社長)

## 今回のREPORTER-リポーター-



### ゆずはら地域おこし協力隊 長谷川 夏輝 -Natsuki Hasegawa-

神奈川県出身の地域おこし協力隊。今年で2年目に突入。林業研修の他に、森林イベントの運営や木工などにも力を入れ始めました。協力隊同士で立ち上げた組織「KIRecub-きりかぶ-」では、休みの日を活用して造林の仕事を請け負っています！

# 栲原に来て

～自然と林業への出会い～  
地域おこし協力隊新メンバー自己紹介

こんにちは～！

9月から地域おこし協力隊に着任しました、吉井香在（よしいたかあき）と申します。漢字が難しいのでこの機会に覚えとってください、よろしくをお願いします。

改めて自己紹介させていただきます。

栃木県日光市出身で実家のコンビニの経営に10年くらい携わっていましたが、自然が好きなこともあり外仕事に興味を持ち、竹屋、ゴルフ場のコース管理などをしていました。

そして最終的に一番やりたかった林業という仕事によりやく出会えました。

色々なご縁があり栲原町に移住することができたわけですが、水が美しい～！！



田野々・善福寺の千年杉と。



厳しい現場だからこそ感じられる美しさに思わずバシヤリ。

この美しい水があるからこそ、山の頂上から深海までの、ありとあらゆる生物の暮らしがあり、安定した天候や土壌が形成され、バランスを保てるような美しい自然に循環していくのかなぁなんて思っています。

流域ごとの生物圏は自分の中ではとても大きなキーワードです。

このような重要な場所で、林業を学ばせてもらえることを誇りに思います。

まだまだ林業のことは何もわかりませんが、自分がやってみたいと思うことを模索しつつ、周囲の人達や自然に助けられながら、感謝と楽しむ心を忘れずに日々精進していきたいと思っておりますので、よろしくお願いします。

## この木なんの木 一表紙の問題の答えー



答え： ヤマボウシ

ミズキ科の落葉高木。

初夏には白い花を咲かせ、8～10月頃には赤い実をつけ、10月頃からは紅葉と、季節によって様々な姿を見せてくれるはず！

## 今回のREPORTER-リポーター-



ゆずはら地域おこし協力隊  
吉井香在-Takaaki Yoshii

栃木県日光市出身の39歳。

一年目協力隊員、写真、音楽、自然散策などが趣味です。栲原の魅力も色々発信できたらと思います。